

2023.02.12 聖書預言・アップデート

世に妥協するプレッシャー

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。主よ、あなたが必要なのは明らかです。私の歌声にあなたが必要なのは明らかです。ですから、主よ、今朝その御声になってくださいませんか。主よ、ここで礼拝する時、共にいてくださることを感謝します。私たちはあなたに礼拝を捧げます。どうか私たちにお語り下さい。私たちを落ち着かせ、主よ、集中できますように。あなたが私たちにご用意されているものを聞く事から妨げる可能性があるものをすべてあなたに委ねます。なぜなら、あなたの御言葉が私たちを変えて下さるからです。ですからそれらを取り去り下さい。私たちの注意を引こうとする事柄を。今朝、あなたに集中できますように。「聖書預言・アップデート」に感謝します。

主よ、あなたの忠実なしもべ、JD 牧師をあなたに感謝します。私たちが集まり、礼拝し、交わり、あなたの御名を賛美できるこの場所に感謝します。イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございますご着席ください。ありがとうございます。ようこそ。オンラインでご参加の方も、歓迎します。大変嬉しいです。始める前に、少し時間を取って、トルコとシリアの人々ために祈りたいと思います。もちろん何が起こったか、皆さんご存知ですね。ただただ恐ろしいです。死者の数は、増え続けていて、莫大な数です。でもそれは数ではなく、人々なのです。母親、父親、姉妹、兄弟、息子、娘など人々の愛する人たちです。ですから少し時間を取って、トルコとシリアの人々のために一緒に祈りましょう。

天のお父様、このような時こそ、祈りをあなたに感謝します。このような時に、このような影響を受けている多くの人々のために祈れないとしたら、私たちは何をすればよいのでしょうか。主よ、私はまず、今回の事で打ちひしがれている人たちのために祈ります。主よ、あなたにしかお出来にならない方法で、このことを用いられ、このことが人々をあなたのもとへ、救いへ導いて下さいますように。

主よ、負傷者のために祈ります。何万人もいると思います。数十万人とは言わなくても、二度と同じ人生を歩むことができない人々がいます。彼らに超自然的な癒しをお願いします。あなたは癒しの神、偉大な医師だからです。主よ、現在進行中の救助活動に携わ全ての人に超自然的な力を与えてください。どんなに大変なことでしょうか。どんなに辛いことでしょうか。お～主よ、あなたは良いお方です。どんなに悪いことがあっても、あなたがどんなに良い方であられるかは変わりません。

主よ、私たちはトルコの人々、シリアの人々のために、あなたの善良さに訴えます。特にシリアの人々に。あの人々は、、、貧しい人々で、イエス様、あなたが愛し、あなたは彼らの為に死んでくださいました。私たちは、何よりもまず、彼らの救いを祈ります。主よ、私たちは祈ります。あなたは慈悲深く、恵み深くあります。あなたは思いやりに溢れておられます。ですから、主よ、どうか、私たちはこのことを懇願し、このことをあなたにお願いします。今日の、この時間を祝福くださいますように。

お～私たちはあなたが必要です。お～主よ、どれほどあなたが必要でしょう。あらゆる瞬間にあなたが必要です。不朽の讚美歌が美しく言う通り、主よ、私たちはあなたが必要です。ですから主よ、ありがとうございます。私たちに、あなたがいて下さる事を感謝します。あなたがここにおられることを感謝します。私たちに聖霊がおられることを感謝します。この時間を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

日曜日の朝は 2 つの礼拝があり、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」、毎週長年してきています。第

二礼拝は「説教」、神の御言葉の節ごとの学びで、現在「第二ペテロの手紙」です。今日は、主の御心なら、2章を学び終わります。あるクリスチャンは、偽教師や偽信者にさえ、なぜ騙されやすく、世間知らずなのかを見ていきます。そこで感謝なことに、使徒ペテロは、私たちが備え、そう簡単に騙されないよう、活用できる雛形を提供しています。それが第二礼拝「第二ペテロの学び」です。ハワイ時間、11時15分からライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、ウェブサイト JDFarag.org へ直接行かれ、中断なし、「検閲」なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。

これは「聖書預言・アップデート」というより今から見ていく通り、「預言の教え」だと思います。皆さん、その理由も分かっていただけだと思います。私の願いと祈りは、特に今日の「預言の教え」が（この世と）歩調を合わせるための圧力に、押し潰されている人々の励みになる事です。この強烈な圧力の中、しっかり強く立つ事が、この終わりの日に益々難しくなっている事に、皆さん同意されると思います。感謝な事に、聖書預言は、想像下さい。「黙示録」の中で、想像下さい。私たちが実際にしっかり立つことができる、必要な希望を与えています。私たちがしっかり立てるのは、主の御力において、主の強さにおいて、聖霊の御力においてです。今からその事を「黙示録2章」で見えていきます。先週、7つの教会の7つの手紙の内の1つを学びましたけど、今日は、その7つの教会の内のまた別の教会、テアテラにある教会についてを見たいと思います。興味深い教会です。最近、主は「黙示録」特に2章と3章の7つの教会に関して、力強く、深い方法で私に語っておられると言うべきでしょう。私の中で息づいています。神の御言葉が生きておられ、活発でどんな両刃の剣より鋭いことに驚くべきではありませんね。しかし、今日ここで主は私たちに御言葉をくださっていると思います。この教会宛の手紙を分かち合いたいと思います。18節から、

一黙示録 2:18— (口語訳)

テアテラにある教会の御使にこう書きおくりなさい。『燃える炎のような目と光り輝くしんちゅうのような足とを持った神の子が、次のように言われる。

私たちが、このようなイエスの威厳を目の当たりにしますように。

一黙示録 2:19—

わたしは、あなたのわざと、...

ここにかなりのリストが挙げられます。ここはかなりの教会です。

...あなたのわざと、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、あなたの後のわざが、初めよりもまさっていることを知っている。

言い換えれば、ここは非常に忠実な教会でした。ここは非常に愛のある教会でした。非常に奉仕的で忍耐強い教会でした。成長し、順調でした。しかし、20節、

一黙示録 2:20—

しかし、あなたに対して責むべきことがある。あなたは、あのイゼベルという女を、そのなすがままにさせている。この女は女預言者と自称し、わたしの僕たちを教え、惑わして、(性的)不品行をさせ、偶像にささげたものを食べさせている。

一黙示録 2:21—

わたしは、この女に悔い改めるおりとを与えたが、悔い改めてその不品行をやめようとはしない。

一黙示録 2:22—

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ入れる。この女と姦淫する者をも、悔い改めて彼女のわざから離れ

なければ、大きな患難の中に投げ入れる。

一黙示録 2:23-

また、この女の子供たちをも打ち殺そう。(わお) こうしてすべての教会は、わたしが人の心の奥底までも探り知る者であることを悟るであろう。...

...そしてわたしは、あなたがたひとりびとりのわざに応じて報いよう。

一黙示録 2:24-

また、"テアテラにいるほかの人たち"で、まだあの女の教を受けておらず、サタンの、いわゆる「深み」を知らないあなたがたに言う。わたしは別にほかの重荷を、あなたがたに負わせることはしない。

一黙示録 2:25-

ただ、わたしが来る時まで、自分の持っているものを堅く保っていなさい。

しっかり保ち、持ちこたえなさい。わたしは来る。

一黙示録 2:26-

勝利を得る者、わたしのわざを最後まで持ち続ける者には、諸国民を支配する権威を授ける。

一黙示録 2:27-

彼は鉄のつえをもって、ちょうど土の器を砕くように、彼らを治めるであろう。それは、わたし自身が父から権威を受けて治めるのと同様である。

一黙示録 2:28-

わたしはまた、彼に明けの明星を与える。

それから手紙の最後を7つの手紙全てですが、こう締めくくっています。

一黙示録 2:29-

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。】

お～主よ、あなたは私たち、あなたの教会に何を仰られたいのですか？ 私たちは聞く耳があります。主よ、お語り下さい。あなたのしもべは聞いています。私がこの教会宛のこの手紙を選んだ理由は、こんにちの教会全体に合わせ、こんにちのクリスチャン個々の状態を預言的な精密さで記しているからです。切り離されないことを願います。そうするのは簡単です。私たちは皆、その傾向があります。その意味を今から説明しますが、この聖句の一節から切り離されると、信者の生活で、こんな風に聞こえ、見えます。「ああ、これは当時の彼らのためね。」切り離してしまう。いいえ、違います。今のあなた向けですよ。でないと、ここに記してありません。すべての聖句は神の息吹で、目的があられ、意図した目的があられ、時に、指導、保護、指示、勧告、叱責です。私たちは、ここで叱責を受けています。かなり強い叱責ですね。でも私たちには必要なんです。そして、否定しないでください。そこから切り離さないでください。何はともあれ、お願いします。先週だったかな？カポノが祈ったのが、主よ、私たちに、他の誰かのためだと考えさせないでください。とても良い祈りです。私たちはそうしますからね。さあ、素直になりましょう。神の御言葉の教えの下にいて、それが強い言葉なら、どうします？ そう、自分自身をその適用から切り離す。そして考えるのは、「誰それが聞く必要あるわ。リンクを送っておこうっと。」自分自身にリンクをコピーした方が良いでしょう。ですから、穏やかに、愛情を込めてお願いします。切り離さないでください。なぜなら、そうすることは自分自身の危険を招くからです。この教会への手紙は、こんにちの神の教会である私たち向けです。これにはいくつかの理由がありますが、その第一は、名前が性質を表すことです。それを学んでいますね。それが聖書に繰り返しあります。名前は性質を表す。テアテラという

名前は、犠牲や捧げ物という意味で、それがここに来て、一瞬にして鮮明になってきました。テアテラは、興味深い都市で、港町ではありませんでした。内陸にあったため、他の方法での商業に頼らざるを得なかったのです。ですから、貿易センターとして知られていました。あえて言えば、当時のあの地域は、世界に既知の世界貿易センターでした。そのため、彼らはこうした事業団体や、貿易センター、あるいは組合とでもいべきものを結成していました。それがギリシャやローマの神々と結びついていました。これらの事業団体は非常に強力だったので、彼らが仕事と生活を維持する望みを持つなら、性的不道徳と偶像崇拜に従わなければなりません。これらの組合は、これら多くの神々関連の強制的な会合があり、参加するよう圧力をかけられていたと考えられます。異教徒の神々に生贄を捧げるのを拒否すれば、生活そのものが危うくなり、低賃金の仕事に追いやられるか、最悪の場合、全く仕事ができない状態に追い込まれます。ですから、この圧力下のこの街のこの教会に、救い主がこれに関して使徒ヨハネに手紙を書かせられます。すなわち、彼らは、教会として許容していたのです。私たちは寛容です。彼らは、このイゼベルを、つまり、人を惑わすこの女を許し、容認していたのです。ヨハネがどう導かれてこれを書いたのか、その詳細に注目して欲しいです。

「わたしのしもべたち、わたしの子どもたち、わたしの民を。あなたがたはイゼベルをなすがままにして、わたしの民を惑わしている。それはよろしくない。この女は、主のしもべたちに、罪深い生け贄を捧げるよう惑わしているからだ。あなたがたが、そうさせている。」

これは、さらに深刻な叱責です。間違いなく、この教会で惑わされていた人たちの言い訳にはなりません。しかし、それは教会の指導者たちでした。彼らは、許可していたのです。一緒に考えてください。自分の家に、自分の家族に、子どもたちを罪に惑わす誰かが入ってくるのを許しますか？ もしかしたら、誰か、じゃないかもしれませんが。何か、かもしれません。あなたはそれを許しますか？ ええ、あなたはそのための申し開きを受けるでしょう。それが、教会の指導者の私たちはこのことを非常に重く受け止める理由です。これについては、第二礼拝の「第二ペテロの手紙」でもう少し詳しくお話します。あ、あゝ～！ 私がこれを言うのに飽き飽きしないでほしいのですが、教会として、教会生活として、あなたのクリスチャン生活で、神の御言葉のどこにいても、それがあなたの聞くべき箇所です。神の御言葉のどこにいても、生きておられ、活発で生き生きされ、適用します。それが、主の生きておられる御言葉です。生き生きとしていて、こうなります。「ほ～！！ほ～！！ほ～！！なぜ主はご存知なのか？」ええ主は、本当に何でもご存知ですから。でも、あなたが神の御言葉にいるところそれがあなたへの神の御言葉です。神だけがあなたについてその事をご存知だからです。誰もその事を知りません。神の御言葉が、聖書ページから飛び出すとき、もしくは携帯アプリから、つまり個人的に、パワフルに、突き刺し、そして切る両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫かれます。(へブル 4:12) 心臓を突き通されます。それが神の御言葉です。今日はそういう事例です。先週のように、この2つは密接に関係しているからです。じゃあ、来週もしましょうか？ 分かりません。プレッシャーをかけないでください。たぶんね。分かるでしょう。しかし、やはり今日も主は私たちに御言葉を持っておられます。これは、このレベルまで上がるほど深刻です。主がこの教会の指導者に対して仰っていることを聞いてください。

「あなたが起こる事を許容しているのです。あなたの責任です。あなたは教会の指導者です。この女がわたしの教会にやってきて、わたしのしもべたちを惑わせることをあなたが許しているのです。それはよろしくありません。因みに、どうやらあなたがしないから、わたしがそれについて対処します。」

これが害をもたらしました。この人たちが脅威だったんです。悔い改めがないと、この脅威は非常に深刻で、神が彼女を病の床に投げ込まれ、彼女と一緒にいる人たちが激しく苦しむレベルにまで達します。再度、悔い改めがないと、そうすると、死ぬ人もいます。なぜか？ どうかお付き合いください。これは大変、厳しいです。でも真理です。皆さん、自分の家族、自分の家について考えてほしいです。もし誰かや何か、私の子どもたちや妻、家族、家に恐ろしい脅威を与えたら、私は、この脅威から子どもたちを守るため、断固として、迅速に対処します。それが、ここで神がなさっていることです。これは、ご自分の民を、ご自分のしもべをご自分の教会を守りたい愛溢れる天の御父です。ですから、主は彼らの注意を引こうとしておられ、彼らを病の床に投げ入れられます。それでも悔い改めないのであれば、ええ、聞いてください、私は試しました。神はご存知です。私はすべての聖書翻訳を調べました。私のパソコンには、たくさんの聖書翻訳があります。「あなたの子どもたちを殺す」ほど強くないものを探そうとしました。ええ、きつともっと棘がない もっといい翻訳があるでしょうから。私が見つけたのは、実際もっとひどく、もっと生々しく恐ろしいものでした。で、もちろん生じた質問が、「神様、なぜですか？」「ええ、理由は、わたしが殺さなければ、民が殺されるからです。壊疽（えそ）のように。使徒パウロが語ったように、癌のように広がります。あなたがわたしの教会でこれを許し続けるなら、わたしの教会の死をもたらすでしょう。わたしはわたしの民を守らなければなりません。」

こう思う人は少なくないでしょう。不釣り合い、愛がない、不当だ。このことが、教会の中でこういうレベルにまで上がっている深刻さを見れば一目瞭然です。コリントの教会の事です。それは、パウロのこの教会への第一の手紙で証明されています。「第一コリント 11 章 27～32 節」、人を病いの床に置くことに関して酷似しています。彼らが主の晩餐で行っていたことが原因です。パウロはこうも言います。

「あなたがたの幾人かは死にます。理由が知りたいですか？」あなたがたが、体を見極められないからです。」どういう意味ですか？「ええ、もしあなたがわたしの体に、わたしの民に、わたしの教会に、わたしのしもべに、脅威となるようなことをしたらあなたを病床に置き、あなたの注意を引き、あなたを早く家に連れて行きます。あなたを守るためでもあります。しかしおもに、もっと重要なのは、わたしの信者の体を守るためです。」

ですから早死にします。病気や死は、通常、神の裁きではないことを知っておいてください。墮落した世界で生きている結果です。罪がこの世に入り込んだとき、罪とともに死がこの世に入り込みました。これは決して、神の人間への当初のご計画ではありません。しかし神は人間に、自由意思を与えられました。神は私たちに、決して無理強いされません。ですから、そのような選択をするときは、自分自身に原因があります。因みに、木曜日の夜「エレミア書」を学び終わりました。52 章ありました。確認していませんが、「エレミア書」の学びに 1 年費やしたと思います。何年前か、ローマ書に 3 年近く費やしたことを思えば、このくらいがちょうどいいです。「エレミア書」の次の書は「哀歌」です。元気そうには聞こえませんが、あなたの嘆きは彼らの葬儀の悲歌です。そんな言葉のひとつ、まるで悲しい歌のようです。その詩が、その歌が、ユダの滅亡を悼んで、嘆き悲しむ。で、今週の木曜日は、御心なら、「哀歌」の学びを開始します。5 章しかないのが嬉しいでしょう。でも、最初のを取り上げますが、私たちが分かるのが、私たちの罪が何を引き起こすのか。どんな害を生じるのか。私たちに与えるダメージと害。他者に与えるダメージと害。間違いなく、神の御心にもたらす悲しみは大きいです。私たちの罪が、何を引き起こすか。今週の木曜日です。皆さん、来られるのを願います。私はそんな風に紹介した後なので、皆さん、たぶん来ないでしょうね。もう一度だけ言います。死と病気は、大部分が、この腐敗した世での生活の結

果です。しかしながら、病床で悔い改めるよう、まず注意を喚起する必要があると神が判断されるときがあります。しかし、それが彼らの悔い改めに繋がらないなら、取り去られるでしょう。彼らを取り除くことで、ご自分の教会に与える脅威も取り除かれます。それが、この手紙の語る事です。

再度、私がこれを強調する理由は、否定せず、切り離さないでください。これは、私たちに聞く耳があるなら、こんにちの私たちへの御言葉だからです。この御言葉は、すべての牧師、すべての教会の指導者の背筋を凍らせるはずで、なぜなら、繰り返しますが、責任は私たちにあるからです。この神の群れを守るために。補足で言わせてください。おそらく第二礼拝で、それに関して、もっと説明しますが、皆さんに断言したいと思います。はい、再断言し、皆さんに約束、再約束かもしれませんが、特に、この教会に来たばかりの人、来てくださって本当に嬉しいのですよ。私たちは、あなたを愛し、あなたを歓迎したいです。どうぞくつろいでください。この教会に来たばかりの人、あなたが来てくださり本当に嬉しいです。ですから、私はあなたに再約束し、このことを約束したいと思います。イゼベルを、私たちはこの神の教会で、決して許しません。私たちは、あなた方、神の民に脅威を与える者に対し、断固として、迅速に対処します。難しい事ですが、正しい事です。神はこの信者の体を猛烈に守って下さっているのです。神は誉れ高く、神は祝福されます。私はあなたに全力を尽くしたいし、また、あなたに備えてほしいのです。繰り返しますが、第二礼拝でもっと話します。なぜなら、あなたには役割もあるからです。私たちは、監督という立場からしかできないことがあります。でもあなたは、見極めが必要です。イゼベルに惑わされないために。バラムに惑わされないために。あなたは、このような偽信者、偽教師、特に、偽の教えに騙されてはいけません。こんにち、キリストの体に多くの害を与えています。神がこう仰るのは、本当に時間の問題だと思います。「もうこれまでです。時間切れ。終わり。完了。」そうなりますよ。その目は燃える炎のようで燃やし尽くされます。その足は光り輝く真鍮のようで、真鍮は、聖句で裁きの予型です。では、問い、答えるべき質問があります。

「牧師さん、こんにちの教会に関する聖書預言にどう適用されるのですか？」

答えは、文章にすると、終わりの日の教会は、このイゼベルの霊に屈し、容認し、従っています。こんにち健在です。しかしながら、見ていく通り、多くのものがあるにも関わらず、妥協していく多くの人たちにとって、まだ希望はあります。それが今日の教訓です。テアテラにある教会は、よりによって地震があった、小アジア、現代のトルコに当時実在した7つの教会の内の1つなのを理解する事が重要です。文字通りの7つの教会だけでなく、終わりの日の教会をも預言的に物語っています。これらの教会の一つひとつが、終わりの日の教会を、預言的に語る預言の代表です。言い換えれば、それぞれの教会が、主がご自分の教会を携挙される直前の終わりの日の預言的描写です。この理由から、言わば預言的類似性を導き出すことができ、その結果、私たちの注意がイエスと時の緊急性に向き直されます。それが、この「聖書預言・アップデート」の目的です。イエスの下へ行く事。人々をイエスに、イエスを人々に。出来るだけ早く、イエスの下へ行く事。イエスの下へ立ち返る事。恐らくそれが、来週の「聖書預言・アップデート」です。エペソにある教会、1つ目の教会です。失ったのではなく、最初の愛から離れてしまった。あ〜今日、それが起こるのを祈ります。今まさに、聖霊が、私を含め、私たち全員の注意を掴んでくださるよう祈ります。聖霊の唯一の目的が何か知っていますか？ イエスにご栄光をもたらす事です。それが聖霊の役割です。ですから、イエスについて話しましょう。何と尊い考えでしょう。私が皆さんの注意を引きたい理由は、私たちの注意は分断されているからです。同意しますか？ 聖霊は、そのような私たちの注意を一身に集めて下さるご存在です。ですから、こうした預言的類似性に注目することができる

のです。そうすると、、、聞いてください。イエスは教会にこう仰ったからです。

「I am/わたしはある」

「わたしがこれをする、教会は、わたしが”わたしはある”だと分かります。(ヨハネ 13:19)

わたしはあるわたしは心と意思を探る者である。」

その意味分かりますか？ 主は、私たちの心をご覧になります。お～私を探り、私の心を調べてください。主よ、あなたを知り、あなたを聞き、あなたを愛することから私を遠ざけるものがあるかどうか、調べてください。主よ、私の心を探り、私の心を調べてください。なぜなら、私をあなたから遠ざけているものがあるかどうか、あなたと私の間に入り込んで邪魔をしているものがあるかどうか、主よ、調べてください。あなたが調べて下さって、あるなら、指を置いてください。主は、これだと特定なさるとき、いつもとてもお優しいです。

「わたしがそれを切り取らねばなりません。わたしが切り取らなければ、それがあなたを殺します。広がりを続けるからです。」それをさせていただきます。聖霊に寛容でありましょう。いかがですか？ 聖霊が、このことについて私たちの心を探ってください、私たちの心に自由にアクセス下さるよう寛容になりましょう。では先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。もうウェブサイトで見られますように。

一本編一

以下は、これらの預言的類似点を纏めた表でおもに次の2点に焦点を当てます。

預言的類似性

テアテラの教会	終わりの時代の教会
貿易組合への参加を迫られ、文字通りの姦淫にいたる	霊的姦淫につながる世への参加と追従の圧力
仕事を続けるため、異教の神々に犠牲を捧げなければならないという圧力	仕事を続けるため、気候やコロナのために犠牲を払わなければならないという圧力
神の民を惑わす自称偽預言者	神の民を惑わす偽預言者、牧師、指導者たち
「イゼベル」の教えを許し、容認する教会指導者たち	教会の指導者が偽りの教えを許し、さらにそれを助長している
イゼベルの霊に惑わされるクリスチャンの危険性	気候変動／コロナの嘘に惑わされるクリスチャンの危険性
病床で苦しみ、死に至るクリスチャン	注射で病気になり、死に至るクリスチャン

気候変動/環境、とコロナです。しかしこれらは、多くの内の2つです。全てが互いに連動しています。でもこれらは、言わば、一番の核心部分です。しかし、この2つに具体的に含まれるのは、政治的に「従っていく」と「上手くやっていく」ための圧力です。社会的に上手くやる圧力。文化的に上手くやる圧力。そして、経済的に上手くやる圧力。同調してうまくやるための強烈な圧力です。特に政治的な分野。私はその話をするつもりはありません。今日はそんな気力ありません。喜んでください。ですから、今回は特にこの2つについてお話します。

1つ目の類似。テアテラにある教会は、貿易センターに参加するよう圧力をかけられ、文字通り、霊的な

姦淫に惑わされました。ですから同様に、終わりの時の教会も、世の中のやり方に参加し、従わなければならないという圧力があり、それがヤコブの語る通り、靈的姦淫です。なぜなら、

「世の友となる者は、自分を神の敵としています。」(ヤコブ 4:4 参照)

世と友になってはなりません。事実ヤコブは、非常に機転が利いて、気品があります。彼はただ、はっきりとこう言います。「節操のない人たち！不貞のやからよ！」牧師が立ち上がるのをご想像ください。ええ、想像がつかます。あなたは、毎週やってるじゃないですか。どうとでも。でも牧師が、真理を説くことを神に祈るばかりです。「あなたがたは、不貞のやからです。」ひ～ 「あなたがたは節操のない人たちだ。」ひ～「なぜですか？」「あなたは世と、靈的姦淫を誓っています。あなたは、世と床を共にしています。それが靈的姦淫です。あなたは不貞を働いています。世と癒着しすぎています。あなたは、世と世の事柄に恋をしています。」

あなたが世に恋しているのなら、ヨハネは言います。

「その人のうちに御父の愛はありません。」(I ヨハネ 2:15)

あなたは両方愛せません。イエスが「マタイの福音書6章24節」で仰っています。「あなたは両方に仕える事は出来ません。」どちらか(富か神か)の一方です。両方はできないのです。「一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることになります。逆もしかり。」

教会を探すのに苦労するでしょう。この真理を話す根性ある教会を。「だって私たちは寛容で繊細でありたいから～私たち、繊細なんで～す。」じゃあ、コリントの教会に戻りましょう。「お～私たちは愛に溢れ、許し合ってます。」パウロは、「本当に？あなたがた愛し合ってる？ 愛しあっていません。それが愛と思っているのですか？ それは愛じゃありません。愛とはこういう事です。」第一コリント13章、

「第一コリント人への手紙13章」は、皆さん、叱責の文脈であることに気づいていないと思います。ですから次に、結婚式をされたいなら、もう私に結婚式をやってほしいという人はあまりいないので、私は個人的に受け止めています。というのも、実はこういう話をするんです。結婚式でそれを聞くと、実は「自分は愛しているつもりでも、愛ではない」という文脈になります。「お～私たちはとても許し合いますよ。」いかに愛がないかを教えてあげましょう。コリントよ、あなた教会の人が、義理の母親と性的不道德な行為をしていて、あなたがたはそれを容認している。それは、他の教会に対して何を言っているのか？「お～、きっと大丈夫～～。問題ない。そう、教会の指導者は何もしない。許しているんです。それを許可しているんですよ。カッコいいね～。おい、僕たちは、愛と許容と寛容があるんだぞ～。どんな人でも愛するんだ～。」それが全容です。今でも、多くの人が聞いていると思いますが。それに囚われていますか？ いいえ。それは愛じゃありません。パウロが言います。あなたがたが彼らを愛しているなら、あなたがたがする事とは、教会から追い出さなさい。まず第一に、その事から、あなたがたは教会を守る事。なぜなら広がっていくから。しかしあなたが彼を本当に愛しているなら、肉の思いを滅ぼすために、彼をサタンに引き渡さなさい。うわ～「愛はどこにあるの？ここに愛は感じられません。彼を肉の思いから滅ぼすためサタンに引き渡すのですか？」はい。サタンの好きにさせればいいです。彼は自分の感覚を取り戻すでしょう。彼は悔い改めるでしょう。彼がそうしたら、回復させるのです。でもそれが彼を愛するなら、唯一の方法です。愛していないなら、放っておけばいい。じゃあね、あなたみたいになりたくないわ。いえ、あなたが彼を本当に愛しているなら、本当に愛のある教会なら、本当にわたしの民を愛しているなら、それが対処の方法です。それが愛です。それが真理と愛です。愛が故の真理です。あなたが気にかけないなら、なぜ気にします？ これが私の子育ての中で私の話で拘りです。私は愛しているから

こうするのだよ。すると子どもたちは幼い頃、こんなことを言っていたものです。「じゃあ、そんな愛してくれなくていい。」そうではなく、あなたを愛しているからこそ、ここで辛いことをせねばならないのです。では、もう一つの類似性です。テアテラの教会は、最高の仕事を得て、それを維持するために異教徒の神に捧げものをする圧力を受けていました。聞き覚えありませんか？ 終わりの日の教会のこんにちの圧力は、環境という偽りの神に、生贄を捧げる。創造主ではなく、被造物を崇拝する。この全ては、炭素を削減するという旗印の下、炭素削減の意味ご存知ですね？ 人々を削減する事です。お～それが計画です。これで十分悪くなければ、科学という偽りの神に生贄を捧げねばならない圧力がさらに強くなっています。アスクレーピオス神です。この異教徒の偽りの医学の神。この教会に手紙が書かれた紀元 95、97 年頃のこの時代、異教徒の薬の神アスクレーピオスの神殿もあり、それが普及していました。彼らは生贄を捧げます。捧げものをするのです。これは正に現代の科学の神です。全てはコロナという旗印のもと、最高の仕事を手に入れ、最高の仕事を維持するために。テアテラの教会では、彼らは、神の民を惑わす自称の偽預言者イゼベルに仕えていたのです。あまり変わっていません。終わりの時の教会は、最後まで聞いて下さい。神の民を惑わす偽預言者、偽牧師、偽信者、偽指導者が蔓延します。皆さん、私はそれを言い続けているのは分かっていますが、第二礼拝のタイトルは、

「なぜ一部のクリスチャンは、こんな世間知らずで騙されやすいのか」クリスチャンというのは、こういう人たちです。「ええ、私はクリスチャンです。」私たちはあまりにも信頼して、それを受け入れているだけです。彼らはクリスチャンじゃありません。彼らは新生した信者ではありません。彼らはあなたの兄弟姉妹じゃありません。彼らにはイエスが必要です。でも私たちは、非常に世間知らずで脆弱です。新しい信者についてを話しているのではありませんよ。主と共に、ずっと歩んできた信者の話です。彼らはもっと知るべきです。もっと見極める目を持つべきです。テアテラの教会では、これは叱責の中心焦点です。教会の指導者たちが、このイゼベルの教えを許し、容認していたのです。終わりの時の教会で、教会の指導者は容認します。想像できますか？ 間違った教えまで促進しています。彼らはそれを促進しています。偽りを、嘘を。あなたはそれを促進し、人々を惑わしている。死んでいく人もいますよ。あなたの責任です！！ 彼らは病気になっているんですよ。あなたの責任です！！ テアテラの教会で、このイゼベルの霊に惑わされたクリスチャンたちは、自分たちの身を危険にさらしていました。終わりの日の教会では、クリスチャンは嘘の霊に惑わされています。それが、彼ら自身への危険です。聖書の中の 2 つの記述を考えています。1 つは預言者ミカヤです。アハブが、ヨシャファテに言います。ミカヤは真理を預言していたため、すでにアハブに投獄されています。アハブは彼の根性を憎み、監禁しました。彼には他の預言者たちがいて、耳に心地よい事を語ります。心地よい事だけ話し預言する。そこでミカヤは、真理を語ります。アハブに言います。

「あなたは死ぬ。主はそう言われる。」(I 列王記 22 章参照)

何を失うというのです？ それが真理です。考えていた別の記述は、イザヤ書、いやエレミア書ですね。人々は偽りを語り、彼らはそれを聞くのを好んでいる。(エレミア 5:31 参照)

言い換えれば、「私に嘘を語ってください。真理を言わないで下さい。私に嘘を言って下さい。それが大好きだから。そんな風に言ってくると嬉しい。いえいえ、私たちは、バビロンの捕囚になんてならないと言って下さい。私にそう言って下さい。それが聞きたい事だから。真実じゃないのは分かっています。でもそれが聞きたいのです。大丈夫だと言ってください。全てうまくいくと言って下さい。私は大丈夫だと言ってください。」

あなたは大丈夫じゃありません。あなたは罪びとです。あなたは救い主イエスが必要です。あなたがイエス・キリストの救いに辿り着かないなら、地獄で永遠を過ごすことになります。あなたを本当に愛しているから、それを伝えます。どうですか？　それが愛です。「第二テサロニケ 2 章」を考えます。強い惑わす力で、彼らは嘘を信じる。なぜか？　なぜなら、彼らは真理を拒絶したから。テアテラの教会、これらはクリスチャンですよ。彼らは病の床で苦しみ、幾人かは死にます。クリスチャンたちが。そうして、終わりの時の教会のクリスチャンたちは病で苦しみ、具体的に、この毒の注射、別名、死の注射で。彼らの死にさえつながっています。「私たちは、彼らに天で会いますか？」はい。彼らが新生しているなら、天国に行きます。皆さん、接点が分かりますか？「このテアテラの教会宛の手紙は、こんにちの教会宛なのですか？」間違いありません。その通りです。では、皆さん、落ち込みますか？　このことが、前述の今日の教訓に繋がります。それは、テアテラの教会の残りの私たちへの励ましの希望です。この手紙の 24 節と 25 節を読んでいて気がつきましたか？　イエスは、イゼベルに惑わされていた人々、特にこのイゼベルがしもべたちを惑わすことを許していた指導者たちに向かって語り、「しかし、テアテラにいる残りの者たち、わたしは彼らには言い終えました。今わたしはあなたに言います。」「私ですか？」「そうです。そう、あなたです。」「テアテラにいる残りの者たちに言う。」テアテラにいる残りの者たちとは誰？

「イゼベルの教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたです。」これは、当時流行していたグノーシス主義を表していると思います。それから 25 節は、お～イエス様、25 節を感謝します。

一黙示録 2：25-

ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

訳すと、テアテラの中に、信仰に強く立っている人たちがいたのです。彼らは、遠くからイゼベルを見た。彼らは、1 マイル先からイゼベルの臭いを嗅ぎつけることができました。実は、その方がもっといい響きです。彼らには見極める目がありました。彼らは、この人物、この人物が教える事、この教義がイエス・キリストの教会でしている事を見ていました。彼らはそれを買わなかった。彼らはそれに巻かれなかった。私はあなたのこの残りの者になりたいです。ここに行列があって、そのグループは「残りの者」というサイン。私はそのグループに入りたい。なぜなら、私がそこに入って、イエスが私に仰ったこの事を保つ。「わたしは他の重荷を負わせない。あなたに叱責はない。わたしがあなたに言う唯一は、もう少しだけ踏ん張って頑張りなさい。わたしはあなたが堅く立っているのを知っている。あなたは巻かれていない。あなたは不動で立っている。わたしが気付いていないとは一瞬たりとも考えないように。わたしは知っています。もう少し踏ん張りなさい。わたしは来る。わたしは来ます。」

あ～待ちきれません。希望が持てますか？（会衆：はい）

「ええ、でも牧師さん、あなたは仰いました。神は私が巻かれていると殺されると。」いいえ、それを持って帰らないでほしいのです。それが教訓ではありません。教訓は、「悔い改め」です。主は、仰いましたね。主は、イゼベル、この女が誰であろうと（悔い改めの機会を）与えると。因みに、彼女の本名じゃありません。イゼベルという女性でしたが、旧約聖書からイゼベルは分かります。イスラエル史上、悪の王の中の王で、最も邪悪な王アハブ王の妻です。彼女は、アハブを圧倒していました。そしてイスラエルの民を、偶像崇拜と性的不道徳へ惑わしました。彼女は非常に邪悪でした。彼女はイスラエルの子どもたちに影響を与え、彼らを引き込み、誘惑したのです。それが名前を十分表します。想像下さい。自分の娘にイゼベルと名付ける事は、決してされないのを願います。息子に、アドルフ・ヒトラーと名付けるよう

なものですから。そういう観点ですよ。ですから、あなたには希望があります。「あるのですか?」「はい。」主は、悔い改める機会をイゼベルに与えられました。でも彼女は拒絶しました。主は、あなたに悔い改める機会を与えておられます。本当の悔い改めを。巻かれていない私たち全員と、そして圧力に屈してこのイゼベルに屈服した者たちに。こういう旗印の下です。

「ねえ、生活しなくちゃならないから、私は妥協してうまいこと、仕事を維持しなくては。」
私は何度、誰かが立ち上がり、主の御力と強さにおいて堅く立っている「しかし、神は」の証を分かち合いましたか。神はそれを尊重されました。主は、見えない宝庫から提供され、扉ではなく、彼らが見ていなかった窓を開けてくださったのです。そして彼らに仕事を提供されました。ずっとずっと良い仕事を。給与もずっとずっと良い。神はそうなさいます。神はそれを尊重下さいます。なぜならあなたが言っているのは、神が提供される事を信じないという黙認ですよ。ちょっと待って下さい。私とその旗印のもと、神の御心に反することをすれば、神を信じていないと言う事になります。逆に、私がそれを黙認せず、こう言えば、「神様、私はあなたがこれをどうなさるか分かりません。...木曜日の「エレミア書 52 章」で話しましたね。...私にはこれが分かりません。これは不可能です。あなたがどうやって提供下さるか分かりません。でも、私が義のためにしっかり立てば、あなたがどうなさるか分かりません。これは不可能ですから。私は不可能な状況にいます。」

「そうなのですか? わたしは不可能を可能にする神ですよ。あなたはわたしを信じますか? あなたが想像もしなかったことをすると。わたしがあなたに話したとしても、あなたは信じなかったでしょう。わたしがすることを、あなたは信じないでしょう。」

神は提供して下さいます。ですから、私たち全員、私たちのテアテラにいる私たち全員が、イエスが私たちのために来られるまで、ただ持ちこたえければなりません。難しくなっているのは分かっています。本当に、難しくなっているのは分かっています。またもっと難しくなります。日を追うごとに難しくなります。しかし、神は。神は、約束されています。御言葉を下さっています。神は、ご自分の御言葉を撤回されることが御出来になりません。神は、私たちを強めて下さいます。神は最後まで、私たちを見守って下さいます。

「持ちこたえるのです。頑張るのです。元気を出すのです。」これらの終わりの日の預言、終わりの時の教会に関する預言は、私たちを励ますためにあります。なぜならそれが表すのは、「私たちは間近である。」

「私たちは間近ですよ。」「わたしは来る。あなたがたはこの全てを見ていて、それが指標で、兆候です。まもなくです。持ちこたえるのです。」

あと少しです。お～先週の事、いやいや、う～ん。まあ、言うのは簡単ですけど、ツイッターでトレンド入りしている宇宙人。今朝丁度、見ました。UFO。これらはブルービーム計画、中国からのスパイ気球だと思えます。中国製で、スパイ気球とかこういう物が、これがどういうことか理解していますか?

これが指標です。

私たちは身を起こし、頭を上げる。私たちの贖いがかつてないほど、近づいているからです。

(ルカ 21:28 参照)

その事が、私たちの一人一人を励まします。それが起こると、私たちは楽しみになる。そのことが、どんなことを経験していても、乗り越えやすくします。身を起こし、頭を上げる。

では締めくくりにしましょう。私たちは常に、福音、イエス・キリストにある救いと、"救いの ABC"という子どもにでも分かる救いの簡単な説明で締めくくります。福音とは何でしょうか。良い知らせを意味し

ます。「あなたの負債は支払われました。あなたは自由です。」「誰が私の負債を支払ってくれたの？」イエスです。「私の負債って？」死の罰則です。イエスは私のために、私の身代わりに死んでくださいました。ですから私は自由なのです。

子（イエス）があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。（ヨハネ 8:36）

イエスが（地上に）来られ、十字架に掛けられ、葬られ、3日目によみがえられ、”そして”イエスはある日、もうすぐもうまもなく戻って来られます。それが良い知らせ/福音です。「救いのABC」とは何でしょうか。シンプルな雛形です。ツールです。唯一の方法ではなく、ひとつのシンプルな方法です。

A：自分が神に背いた罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

そこからスタートです。認めないと、認めるまでは、なぜ救い主に興味を持ちますか？

ローマ人への手紙 3章 10節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3章 23節がその理由です。

「“すべて”の人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは皆、神の完璧な義の基準に達していません。私たちは、完全な的に届いていません。それが「罪」という単語の意味です。実は、アーチェリー用語で、的を外した時に使う言葉です。ローマ人への手紙 3章 23節、私は評決の段階として参照するのが好きです。有罪が確定しました。私たちは罪を犯しました。神の完璧な律法に背きました。それで今、評決段階です。評決は？ 死の罰則、死刑です。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

しかし、良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

賜物（贈り物）と報酬に留意ください。私たちは自分の物ではなく、代価を払って買い戻されたのです。つまり、この贈り物があって、自分で購入したのではありませんよ。自分が購入するなら、贈り物ではありません。意味深なのは分かっています。贈り物なら、贈り物って、差し上げる何かでしょ。またしても、意味深です。でもその贈り物を支払ったのは誰？ イエスです。イエスが、十字架上で全額支払われました。イエスが私たちを買い戻されました。イエスは、「永遠のいのち」というその贈り物の代価を支払われ、それを受け取れるのです。それほどシンプルです。それがAです。次がB、中心です。

B：シンプルに、あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

あなたがすべきことは何もありません。イエスが全部して下さいました。私たちは信仰によって信じ、罪の赦しのために、イエスに信頼を置くのです。

ローマ人への手紙 10章 9-10節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

そして最後に、Cです。C：主の御名を Call/呼び求める。また再度、**ローマ人への手紙 10章 9-10節、**

「あなたの口でイエスは主と告白し、...」

A：自分が罪びとだと認め、

B：心でイエスに信頼を置くと、

C：生じる表現です。呼び求めます。

...あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

救われるかもしれない、ではありません。救われるんです。陪審員はもういません。評決です。

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、私はこう言いたいです。決定打。

「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」

大変シンプルです。子どもにでも分かるシンプルさです。シンプル過ぎるといふ方もいるかもしれませんが。なぜなら、そう私たちは間違っただけを教えられてきたからです。出来過ぎているなら、出来過ぎ。タダ飯なんてない。じゃあ、タダ飯は分かりませんが、永遠のいのちという贈り物は、無償です。それが真理です。出来過ぎです。なぜなら、神があまりにも良いお方で真実だからです。それほどシンプルです。無条件です。「待って。私は何もしなくていいの?」「はい。イエスが全てなさりました。」「私は、授業を受ける必要がないの?」「はい、必要ありません。」「私は、水の洗礼を受けなくていいの?」「はい。」洗礼とは、内面的な献身への外面的な表明・表現です。あなたは救われると、公に、イエス・キリストの「死・埋葬・復活」を明らかにする事です。主の御心で、まだここにいるなら、いたくありませんけど、水の洗礼をする時、私があるあなたを水に沈めます。そしてあなたが誰であるかによって、一(笑)一少し時間をかけて沈めたりして、でも水から起こしますから。でもあなたは明らかにします。ユーモア好きですね? あなたは同じく象徴するのは、イエス・キリストの死・埋葬を浸水で、水から起こして復活を明らかにします。それがイエス・キリストの復活です。洗礼が、救いに必要なものではありません。救いを公に宣言することが洗礼です。「私は良い人になる必要はない?」「ないです。」それならまるで、神がお風呂に入れて下さる前にシャワーを浴びるようなものですよ。意味がありません。主があるあなたを、内外から清めて下さいます。

「たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ 1:18)

聖霊による新生です。あなたはキリストにあって、新しく造られた者です。

「古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(II コリント 5:17)

今やあなたは、霊的に生まれ変わりました。肉体で生まれてきたように、霊的に生まれ変わったのです。聖霊があなたに内住され、あなたに宿り、あなたを力づけ、あなたが聖なる生活を送れるようにしてください。聖なる霊=聖なる人生 聖霊が、贖いの日のために、あなたを証印くださいます。

では、今日の「しかし、神は」の証です。フィル・プレイフォードさんからです。

「親愛なる J.D. 牧師へ。兄弟、あなたの御霊と神の御言葉を愛しています。「しかし、神は」の証をお伝えします。2 回接種して、即座に甲状腺癌になりました。切除して 1 年が経ちましたが、第二頸部の骨に転移している事がわかりました。癌の CT スキャンを受けるように言われました 私はイエスに祈り、牧師や他の人々も祈ってくれています。先週、スキャンの結果が出ました。癌は検出されませんでした。一拍手喝采一 首が少し痛いですが、主イエスを信じています。(私の妻にも首の痛みがあります。私が原因で。。失礼) ...首に痛みがありますが、主イエスがご栄光のために、このことから私を解放してください。私たちがとてもご忠実です。主だけにすべてのご栄光を褒めたたえます。アーメン。ニュージーランドより。」

主イエスよ、ありがとうございます。主を褒めたたえます。カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。今日のご忍耐に感謝します。

天のお父様。私たちはとても感謝します。主よ、教会へのこれらの手紙をありがとうございます。それは私たちのためだからです。そのことが、私たちに大きな希望と励ましを下さいます。誰も、今日のこの礼

拝であなたが私たちにご用意されている希望を、持たずに帰ることがないように祈ります。あなたが、希望を新たにし、この弱々しい膝を、私たちの頭を上げる力を与えて下さるよう祈ります。

主よ、あなたが私たちの頭を上げてくださるお方です。特に、落ち込んでいる人、落胆している人、絶望に陥っている人に。お～主よ、あなたが私たちの希望です。携挙が私たちの祝福された希望です。主よ、ありがとうございます。最後に主よ、今日、この礼拝にいるか、オンラインで見ている人で、あなたに信頼を置き、あなたを信じたことがない人に今日が、明日ではなく今日が、今すぐここが、彼らの救いの場所、救いの日になりますように。救いに感謝します。主よ、福音に感謝します。携挙に感謝します。イエス様、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7